

平成 27 年度 山口県立大学 教員免許状更新講習 シラバス

開設講座名	情報倫理の教授方法を考える	担当講師	吉永 敦征		
講習会場	山口県立大学 4号館 D22 教室	会場所在地	山口市桜畠 3-2-1		
開設日	平成 27 年 8 月 19 日 (水)	時間数	6 時間	受講定員	40 人
募集期間	平成 27 年 5 月 24 日～6 月 4 日	履修認定時期	平成 27 年 9 月 30 日まで		
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小・中・高等学校教諭		
受講料	6,000 円	(うち受講料以外の経費)	0 円		
<p><b>【到達目標】</b>          本講習の目的は二つです。一つは情報倫理について理解し、情報倫理的に考えることができる観点を養うことで、もう一つは獲得した倫理的な観点を授業で教授できるようになることです。</p>					
<p><b>【講習の概要】</b>          情報化社会における規範や振る舞い方は情報モラルや情報セキュリティ、情報倫理などさまざまな呼ばれ方をしています。当然ながらそれぞれの呼び方に応じてその内容も異なっています。          特に情報モラルが自らの身を守るための教育となっているように見受けられる向きもありますが、情報を主体的に取り扱うためには被害者・加害者という視点とは別の視点が必要です。           本講習では情報モラルや情報セキュリティ、情報倫理などの名前で行なわれている教育内容を概観し、特に情報倫理の教授方法について考えます。情報倫理には情報の取扱い方について規範的な判断を行なえる能力や、判断のための基礎的な知識を習得することが求められます。まずは受講者に基本的な情報倫理の考え方を学習してもらい、より適切な情報倫理の教授方法についてディスカッションをして理解を深めてゆきます。          まさに受講者のみなさんに考えてもらう講習になる予定です。</p>					
<p><b>【評価の方法・評価基準】</b>          評価方法：筆記試験および実技          評価基準：情報倫理的な考え方ができるようになること。          合格：60 点以上          不合格：60 点未満</p>					
<p><b>【テキスト・参考資料】</b> ※必ずしも購入する必要はありません。          土屋俊・大谷卓史編『情報倫理入門』, アイケイコーポレーション, 2014          デボラ・ジョンソン『コンピュータ倫理学』, オーム社, 2002          ジュリアン・バッジーニ、ピーター・フォルス『倫理学の道具箱』, 共立出版, 2012          ミル『自由論』, 光文社文庫, 2012          大屋雄裕『自由とは何か』, ちくま新書, 2007</p>					
<p><b>【受講者への伝達事項】</b>          本講習の対象は、情報機器に囲まれている生徒が被害者になることや加害者になることを防ぐためのノウハウを求めている方ではありません。積極的に情報を取り扱うことに付随してくる問題を把握するための、より基礎的な知識を求めの方を対象としています。          考え方を学ぶという点で若干の難しさがあるかもしれませんが、中長期的な視点を獲得したい方は受講してみてください。</p>					